

# 平成 19 年度事業報告

## 1 調査研究事業

### (1) 調査研究活動

#### ① 森林を活用した長期体験活動の推進方策に関する調査

森林を活用した長期体験活動の実態を把握するとともに、その活動内容、運営ノウハウ等を明らかにすることにより、森林を活用した長期体験活動の促進に資するため、活動の実態について調査を行い、その結果等を踏まえ、推進方策等を取りまとめたものである。

委託者 林野庁（計画課）

調査期間 平成 19 年 6 月～平成 20 年 3 月

#### ② 森林体験活動における事故事例等に関する調査

森林体験活動における安全管理等に資するため、これまでの事故事例等を取りまとめ・分析し、基本となる安全対策等を整理するとともに、「絵で見る危険予知」（危険行動チェック絵）を作成したものである。

助成者 （社）国土緑化推進機構

事業期間 平成 18 年 9 月～平成 19 年 8 月

#### ③ 上下流連携いきいき流域プロジェクト事業への参画

主催団体 日本林業技士会

事業期間 平成 19 年 6 月～平成 20 年 3 月

### (2) 他団体の研究活動等への参加

事業活動に活かすため、他団体の研究活動等に参加。

- ① 森林共生フォーラム
- ② 子ども樹木博士認定活動推進協議会
- ③ 森林セラピー研究会
- ④ 巨樹・巨木保護中央協議会
- ⑤ 全国森林インストラクター会
- ⑥ 自然体験活動推進協議会（NPO 法人）
- ⑦ ウインターレジャーリーグ（NPO 法人）

## 2 普及啓もう事業

### (1) 機関誌の発行・配布

機関誌「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員等に配布。  
No.239(2007年4月)～No.250(2008年3月)

### (2) 第21回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「森林総合利用と持続的な地域社会づくり」  
—四季折々の森林レク事業を見る—

開催時期 平成19年10月18～19日(木～金)

開催場所 群馬県みなかみ町, 新潟県湯沢町・南魚沼市

参加者数 47人

研修内容

第1日(10月18日)

① 群馬県 みなかみ町

国有林「赤谷プロジェクト」の視察等

② 新潟県 湯沢町

苗場スキー場の視察等

③ 新潟県 南魚沼市

上越国際スキー場・ホテルグリーンプラザ上越の視察等

第2日(10月19日)

○ 新潟県 南魚沼市

鈴木牧之記念館の見学

八海山スキー場の視察等

### (3) 支部総会等の開催

#### 支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日	開催地等	本部出席者
道央	19年12月3日	札幌市	松田理事長
旭川	19年3月2日	旭川市	松田理事長
帯広	19年11月8日	釧路市	松田理事長
函館	19年8月9日	函館市	尾古専務理事
青森 (研修会)	19年8月27～28日	秋田県仙北市 (「たざわこ芸術村」等)	松田理事長

秋 田 (研修会)	19年 8月 27～28日	秋田県仙北市 (「たざわこ芸術村」等)	松田理事長
前 橋 (研修会)	19年 8月 28日	前橋市	大平総務部長
	19年 10月 18～19日	(全国研修会と共催)	
東 京	19年 7月 10日	東京都江東区	松田理事長
長 野	19年 7月 2日	長野市	松田理事長
名古屋	19年 12月 10日	名古屋市	尾古専務理事
大 阪	19年 10月 16日	大阪市	松田理事長
四 国	19年 11月 12日	高知市	尾古専務理事
九 州	19年 10月 2日	熊本市	松田理事長
賛助会員 研修会	19年 2月 16日等	東京（森林共生フォーラム「研究会」への参加）	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催。

(4) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会や現地研修会の開催等の活動を実施。

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、①機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行、②実施機関や活動計画等の登録、③実施団体リーダー交流会の開催、④子ども樹木博士認定証や樹木の説明教材「樹木ガイド」の作成・提供、⑤インストラクターの紹介等の活動を実施。

(6) 巨樹・巨木保護運動への支援

国有林野内の巨樹・巨木の保護に資することを目的とする「巨樹・巨木保護中央協議会」の事務局として、情報連絡、普及広報等の活動を実施。

(7) 森林セラピー研究会活動への支援

産学官の連携により健康増進に向けた森林の活用、森林療法効果の医学的な課題の解明と国民への普及等を図ることを目的とする「森林セラピー研究会」の事務局の一員として、森林療法に関する普及啓発等の活動を推進。

(8) 森林倶楽部への協力

森林管理局が主催する森林倶楽部の円滑な実施に資するため、参加者の傷害保険への加入に協力。

東北森林管理局ほか3局（開催回数12回，加入者483人）

(9) 他団体主催行事への後援等

① 第18回森と花の祭典—みどりの感謝祭・平成19年度森林の市（協賛）

平成19年5月12～13日（日比谷公園）

② エコ・グリーンテック2007（協賛）

平成19年5月23～25日（東京ビッグサイト）

③ ウィンターリゾート2008（後援）

平成19年11月2～4日（池袋サンシャインシティ）

④ 山村力（やまぢから）コンクール（後援）

平成19年9月～11月（財団法人 都市農山漁村交流活性化機構）

⑤ 平成19年度国有林野事業業務研究発表会（後援，協会会長賞の授与等）

平成19年11月27日（林野庁）

### 3 情報の収集・提供

(1) 森林レクリエーション活動に関する事例紹介

(2) 森林環境教育・健康に関する情報

(3) 森林を活用した地域振興に関する情報

(4) 森林・林業に関する行政等の情報

(5) ウィンターレジャーに関する情報

(6) 当協会に関する情報

### 4 第20回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局，当協会支部を通じて，森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校，地域グループ，職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成20年2月末日）。

応募総数35団体について審査委員会による審査の結果，次の受賞団体を決定。

○ 農林水産大臣賞 岐阜県飛騨市 天生県立自然公園協議会

○ 林野庁長官賞 千葉県香取市 山倉山の会

佐賀県唐津市 佐賀県立唐津南高等学校農業クラブ  
(松露プロジェクトチーム)

- 協会会長賞 北海道小樽市 小樽市立豊倉小学校  
千葉県香取市 神道山ボランティアクラブ  
愛知県豊田市 愛知県立猿投農林高等学校  
「里山守り隊」  
兵庫県篠山市 ささやまの森公園運営協議会  
和歌山県岩出市 特定非営利活動法人  
根来山げんきの森倶楽部

## 5 平成19年度森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は825人(前年度976人)、合格者数は201人(同215人)で、平成3年度からの合格者数の累計は2,818人。なお、森林インストラクターの資格試験並びに養成講習については、平成17年度から、いわゆる環境教育推進法に基づく「人材認定等事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施。

平成19年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内書の配布開始(平成19年2月1日)
- ② 森林インストラクター養成講習の募集開始(平成19年4月1日)
- ③ 森林インストラクター養成講習の実施

区分	科目	期間	日数	場所	受講者数
科目別講習	森林	5. 12~5. 14	3	東京・三会堂ビル9F	145人
	野外活動等	6. 2~6. 4	3	同上	142人
	林業	6. 16~6. 17	2	同上	164人
全科目講習	4科目	8. 12~8. 19	8	同上等	125人

- ④ 一次試験の実施

期日	試験地	会場	申込者数
9月9日	札幌市	札幌市教育文化会館	40人
	東京都	青山学院大学	535人
	東大阪市	大阪商業大学	168人
	高知市	高知グリーン会館	23人
	福岡市	電気ビル本館	59人

⑤ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11月17～18日	東京都	三会堂ビル9F	206人

⑥ 合格者の審査・決定（平成19年12月6日）

⑦ 合格者の公表・登録開始（平成19年12月11日）

## 6 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、平成13年度から森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。講習会の修了者を森林活動ガイドとして認定。平成19年度の講習会の受講者数は302人で、認定者の累計は2,268人。（申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONEリーダー」としても登録）。

平成19年度の実施状況は次のとおり。

(1) 森林活動ガイド養成講習会

当協会が主催し、都道府県等の関係団体の理解と協力の下に実施。

○ 「森林活動ガイド養成講習会 in 茨城」

平成20年3月14～16日（茨城県植物園） 受講者数 30人

(2) 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

東京（三会堂ビル石垣記念ホール等）で開催している森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容も盛り込んで実施。

① 平成19年5月12日～6月17日（うち8日間） 受講者数 113人

② 平成19年8月12日～19日 受講者数 130人

(3) 他団体との連携による講習会

自然体験活動推進協議会の指導者養成団体として、他団体と連携してCONEリーダー（森林活動ガイド）を養成（登録等を実施）。

○ 林野庁森林技術総合研修所（八王子市）

平成19年10月29日～11月2日（森林ふれあい研修） 受講者数 29人

## 7 森林環境教育推進総合対策事業

平成19年度からの新たな事業として森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助事業）を実施。

本事業においては、森林に対する国民の理解を深める機会として、また、青少年の体験活動の場としても重要な課題となっている森林環境教育の推進を図るため、森林環境教育に関する普及啓発活動、人材育成等による活動の促進、活動プログラム・教材作成等の取組を実施。

本年度は、事業の実施に必要な事項を検討するため、有識者からなる「企画委員会」や作業部会を開催し、意見等を聴くとともに、次の取組を実施。

#### (1) 普及啓発活動

森林環境教育活動に関する優良な取組事例等を全国に発信・普及するため、活動や施設等についての評価項目の策定について検討し、現地調査等を行うとともに、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの開設、メールマガジンの配信、パンフレットの作成等を実施。

##### ○ ウェブサイトの開設

「森で学ぼう！森林環境教育ネットワーク」

(URL) <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

#### (2) 人材の育成等

教育、環境、河川等の他分野との連携を通じて森林環境教育を拡大させるため、企画・調整力等を付与し、活動の中核となる人材を養成する「森林環境教育コーディネーター研修」を実施するとともに、具体的な活動現場における指導者を養成する「森林環境教育活動者研修（仮称）」の実施に向けて検討。

##### ○ 「森林環境教育コーディネーター研修」の実施状況

- ・ 日時・場所：平成20年2月22日(金)～24日(日) 林友ビル6階会議室
- ・ 研修対象：森林インストラクター又は地域の森林環境教育活動の推進をリードする者（研修修了者：13都道府県25人）

#### (3) 活動プログラム・教材作成等

学校教育等において活用できる活動プログラムやアクティビティー、教材等の作成について検討するとともに、森林環境教育の推進に関する基礎的データを収集するための調査を実施。

## 8 陳情・要望等の活動

平成19年8月、長野支部と連携を図り、山小屋の軽油引取税免除について環境大臣に陳情。また、支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項につ

いて、林野庁等関係機関へ要望・照会等を実施。

## 9 会員組織の状況

平成19年度における会員数の異動状況

区 分	平成18年度末	入 会	退 会 等	平成19年度末
会 員	315	2	16	301
賛助会員	31	-	4	27
合 計	346	2	20	328

(注) 退会等には、市町村合併、企業解散等に伴う減(9)を含む。